



# 一般質問

※本稿は、質問者が作成しています。

ID 1005109

6月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は8月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

## 服部 修寛 議員

(新緑風会)

国際交流・国際友好と国際親善

**Q** ラグビーワールドカップ日本大会出場のニュージールランドと南アフリカチームの公認キャンプ地として一宮市が内定した。選手らとの交流は。

**A** チームキャンプ地としての役割を踏まえつつ、交流事業の実現に向けて調整していきたいと思えます。

教員の多忙化解消について

**Q** 通知表はどの様に改訂されたか。

**A** 通知表作成ソフトを統一。所見や評定等全ての項目が打ち出せる様にし、出席簿や指導要録等ともリンクし様々な帳簿に活用でき、労力の軽減と多忙化解消につながると思えます。

子どもの貧困対策の着実な推進の為に

**Q** 五月に環境部が実施したフードドライブの実績と今後の実施計画は。

**A** のべ32人の方から178kgの食品が寄せられました。今年度中にあと二回実施し、来年度も検討します。

**Q** 子どもの学習支援について、積極的に支援に取り組むべきでは。

**A** 生活困窮者の子どもたちの学習支援は重要と認識し、検討します。

**Q** 就労支援のため、児童クラブなどは小学校六年生まで対応して欲しい。

**A** 実施にむけて、結論を出すべく検討しています。



## 中村 一仁 議員

(新緑風会)

子どもが健やかに学べるまちについて

**Q** 少子高齢化・人口減少の課題に対し、子育て世代向けに、マーケティング理論を踏まえた対策を検討してはどうか。

**A** 今年度、子育て世代にターゲットを絞り、一宮市のPR動画の作成や放映の検討を進めます。また、マーケティング理論を踏まえた「一宮市シティプロモーション指針」に基づき、子育てしやすいまちづくりを目指したシテ

**Q** 子育て支援の充実のため、小学校に入学した一年生を対象に、ツインアーチ138をはじめ、市内の文化交流公共施設を無料で利用できる「オールマイティパス」を配布できないか。

**A** 子育て支援の充実は非常に重要な課題です。提案については、子育て支援、学校教育、観光、経済などの担当部署と連携し、今後、研究します。



その他の質問項目

- ・悪質クレーム対策について
- ・骨髄移植ドナー支援について



## 渡部 晃久 議員

(新政会)

ドライブレコーダーでの防犯交通安全について

**Q** 個人のドライブレコーダーも防犯交通安全に協力を呼びかけるべく、情報の配信サービスは存在するのか。また周囲の車両に向け注意喚起を行うマグネットシート等を配布しては。

**A** 愛知県警の「パトネットあいち」への登録で情報が受け取れます。マグネットシート等は交通安全キャンペーン時等に配布を検討したいと思えます。



地域振興施設の整備について

**Q** 道の駅など地域振興施設は「一宮市のショーケース」としても有効である。例えば集客力のあるタワーパークへの併設整備はできないか。

**A** タワーパーク周辺の区域は駐車場を整備するスペースもなく、地域振興施設の建設用地確保が困難です。今後都市公園のリニューアル等を計画の際は、研究していきたいと思えます。

市営墓地について

**Q** 市営墓地不足への懸念が根強い。樹木型合葬式墓地(樹木葬)の導入も検討しては。

**A** 樹木葬は比較的新しい埋葬方式のため、今後研究して参りたいと思えます。



## 井田 吉彦 議員

(新政会)

### 障害者、高齢者の福祉について

**Q** 第5期障害者福祉計画を3月に策定したが、どのような内容であるか。

**A** 障害者自立支援協議会やハローワークと連携して「一般就労受け入れ先の開拓」に取り組んでまいります。

**Q** 他の重点施策についてはどうか。

**A** 「グループホーム建設補助の継続」を行い、施設の増に寄与します。

**Q** 他に特筆すべき事項はあるのか。

**A** 児童発達支援体制の強化を掲げ、支援者の育成及び医療的ケアの必要など、受入体制の確保に取り組みます。

**Q** 一見して障害があるかわからない方々に対する支援策はあるのか。

**A** 7月20日から「ヘルプマーク」を配布します。これを身に付けていただくことで、周りから援助や配慮が得やすくなります。一般の方々にも周知・啓発に努めてまいります。

**Q** 第7期高齢者福祉計画を3月に策定したが、どのような内容であるか。

**A** 介護サービスや在宅支援など総合的な高齢者施策を盛り込みました。地域支援事業では、介護予防、総合相談、在宅医療・介護連携推進、認知症対策など様々な事業を、在宅福祉では、ひとり暮らし高齢者等を対象とした配食サービス事業、緊急連絡通報システム設置事業等を推進してまいります。



## 島津 秀典 議員

(新政会)

### 上下水道管路の現状と将来について

**Q** 下水道管路における陥没事故を無くすための対策は何か行っているか。

**A** 古い合流式下水道区域を中心に路面調査を行い、異常等があればTVカメラで管内を調査し、部分補修や管更生工事などを実施しております。

**Q** 管路の陥没防止対策を行うにあたり支障となる問題点は何か。

**A** 道路陥没の発生が高い老朽管の対象となる下水道管の延長は210kmもあり、調査には多くの時間がかかります。また、改築更新の財源をどう確保していくかが課題であります。

### 市境標識・カントリーサインについて

**Q** 木曾川橋の一宮市側にあるゲート型カントリーサインの文字が風化し読めないが、適切なリニューアルを行い、市のPRなどに有効活用できないか。



**A** 昭和36年頃に設置された物で老朽化が否めない為、点検を行うことが必要です。今後、施設の存続・廃止、有効活用について検討して参ります。

### その他の質問項目

- ・本庁舎14階展望ロビー・市民ギャラリーについて
- ・認定いぬや猫園について



## 佐藤 英俊 議員

(新政会)

### 「中野の渡し」について

**Q** 「中野の渡し」は(仮称)新濃尾大橋の開通時に廃止となる可能性がある。歴史的に観光・文化において価値があるので残すべきである。市のウェブサイトで「中野の渡し」に関する記述がないのはなぜか。

**A** 観光資源として認識しています。今後、観光協会のウェブサイトでPRしたいと考えます。



### 木曾川沿川のサイクリングロードについて

**Q** 富田山公園内にサイクルステーションを検討しているか。

**A** 当地にサイクリング関係施設は必要不可欠であり、民間活力導入を見据え調査検討していきます。

**Q** 未整備地区の早期完成を願いたい、市の考えを問う。

**A** 土地の交渉をすすめます。また、稲沢市境では、稲沢市との歩調を合わせ進めてまいります。

### 災害時支援企業について

**Q** 災害時の共助として当制度は有効なので推進していただきたい。

**A** 協力企業の情報提供など、市議会にもご協力をお願いし、この制度を推進してまいります。



## 浅井 俊彦 議員

(新政会)

### 中野市長の市長選挙出馬の意向について

**Q** 市長の任期はいつまでか。また選挙日や告示日はいつになるのか。

**A** 任期は平成31年1月31日です。また選挙期日は任期満了前30日以内に行うこととされ、任期満了の概ね6か月前に開催される選挙管理委員会にて決定されます。

**Q** 3年前の中野市長誕生の擁立を図った一人として、ぜひ立候補をお願いしたいが、現在の市長の思いは。

**A** 就任以来、時代の変化にあつた魅力あるまち一宮を目指し、さまざまなチャレンジや新しい取り組みを行ってきました。職責を果たすことができましたのも、ご理解ご支援頂いた議会の皆様、多くの市民の皆様、そして方針を理解し実行してくれた職員の皆様のおかげであり、感謝の意を表する次第です。これまでふるさと一宮のまちづくりに誠心誠意努めてまいりましたが、「まちづくり」は5年・10年といった長期的な視野、ビジョンが欠かせないと実感しております。第7次総合計画も緒についたばかり、中核市移行の検討も準備段階に入ったばかりで、まだまだ一宮市政でやるべきことは山積しております。市民の審判を仰ぎ、来年1月以降も引き続き市政を担当させて頂きたい、という思いであります。





## 高橋 一 議員

(新緑風会)

現場から聞こえてくる声

**Q** 保育士の途中退職が28年度で35人、29年度で36人となっている。とくに若い保育士の退職が深刻。歯止めをかけることはできないか。

**A** 業務負担の軽減を図るとともに、悩みに寄り添い、助言等しながら不安を安心感に繋げる努力をしています。

**Q** 訪問介護のヘルパーは激務であり、介護予防の必要性を痛感している。介護予防の今後の展開はどうか。

**A** 交流の場として、おでかけ広場やいきいきサロンといった居場所づくりを引き続き推進していきます。

**Q** 貧困や家庭環境の問題など、学校と地域の民生委員が交流を図り、情報共有して連携できないか。

**A** 学校運営協議会の委員にお願いしたり、スクールソーシャルワーカーをパイプ役に連携しています。

ラグビーワールドカップキャンプ誘致

**Q** 一宮でキャンプが内定している、ニュージランドや南アフリカの代表と市民の交流イベントを実現させてほしい。

**A** 組織委員会へは、市民との交流希望を伝えてあります。両代表チームと調整し、ぜひ実現したいと考えています。

その他の質問項目

・道の駅について



## 柴田 雄二 議員

(公明党)

地方創生について

**Q** 人口減少の原因として、社会からの孤立化がある。高齢者の単身世帯やひとり親家庭への対応が必要。孤立化を防ぐ地域共生社会づくりが重要である。財政的に厳しい状況下、他市との連携や他市の社会資源を活用した解決策を検討してみたいかがか。

**A** 人口減少の問題は、地方自治体ごとに状況が異なり、対策も違ってくると思いますが、好事例があれば今後参考にしたいと思っています。また、他市との連携についても今後状況を見ながら研究してまいりたいと考えております。

**Q** シェアリングエコノミーの普及は、官民ともに限りある資源の有効利用ができ、互恵関係が期待できる。公的不動産、クラウドソーシング等による若者・女性に向けた新しい雇用の創出など、さまざまなサービスがある。この仕組みをどのように考えるか。

**A** 現在、子どもの一時預かりや送迎などの調整が簡単にできるように、LINEを活用した「育児のシェア」を実施しています。市は少子高齢化で多様な課題を抱えており、すべてを公共サービスで解決するには、財政的にも人間的にも困難な状況です。シェアリングエコノミーの利活用は、その解決策になり得るかと考えています。



## 則竹 安郎 議員

(新政会)

地方自治体の予算執行について

**Q** 地方自治法に予算単年度主義が規定されているにもかかわらず、新年度の事業が前年度中から周知されているが、法令を厳密に守る姿勢が欠落しているのではないか。

**A** 議会での議決があつて、始めて事業は実施できることは自覚しています。今後、疑念をもたれないように自治法の本旨をよく理解し適正に処理してまいります。

一宮市の公文書の管理について

**Q** 国では公文書の改ざんが行われたが、一宮市ではその心配はないのか。

**A** 一宮市の行政文書は文書管理システムに登録し処理することになっております。各課の文書取扱責任者にシステムの操作権限を厳格に付与し、改ざんを防止する運用をしています。

富田山公園再整備計画について

**Q** 富田山公園の再整備は、どのような方向性で行われるのか。また、スケートパークの検討はどのようになされているのか。

**A** 本公園周辺の河川を活かした賑わいの創出を目的に民間活力導入の可能性を調査し、再整備の手法を検討しております。また、スケートパークにつきましても検討中でございます。



## 竹山 聡 議員

(新政会)

児童生徒の登下校時の防犯・交通安全対策について

**Q** 児童生徒の登下校時の安全を守るためにGPSの活用は非常に有効であると思うが、市として導入の考えはあるのか。

**A** 昨今、各社から子ども達を見守るサービスが提供されていますが、端末利用料や毎月のサービス利用料が必要で、そのため市としては導入することは難しいと考えます。今後も地域づくり協議会や学校運営協議会などと協議をし、地域全体で子ども達の安全が確保されるように努力していきます。

一宮市の生産緑地への対応

**Q** 1992年の生産緑地の指定から、30年が経過した生産緑地の多くが宅地化されるのではないかと、2022年問題が不安視されているが、どのような対応を検討しているのか。

**A** 今後、生産緑地の所有者に意向調査を行うとともに、営農環境と住環境とが調和する都市農業のあり方や制度をどのようにしていくかを検討していきます。

その他の質問項目

・一宮市の景観形成推進について



## 平松 邦江 議員

(公明党)

### 公益活動について

**Q** 公益的に活動している団体やその内容を問う。また財政支援について休眠預金等の活用などを問う。

**A** 社会福祉協議会に登録されているのは290団体で、市民活動支援制度で支援決定されたのは70団体です。内容は主にまちづくり、仲間づくり、健康づくり、出会いづくりです。市民活動支援基金は市民活動に活用しています。休眠預金等の活用については今後、国の動向を注視していきます。

### 防災対策について

**Q** 災害用VR動画について、自主防災研修リーダー研修会について、避難所マニュアルについて問う。

**A** VR動画は総合防災訓練に紹介できるように準備を進めています。自主防災リーダー研修会は21年度から始めて延べ398名の参加者です。今後フォローアップ研修を31年度に予定しています。避難所マニュアルは県から抜粋し作成していますが、今後市のウェブサイトに掲載し周知していきます。

### 麻しん対策について

**Q** 国の「予防接種推奨の周知についての協力依頼」の対応を問う。

**A** 関係所管にそれぞれ周知いたしました。



## 西脇 保廣 議員

(新緑風会)

### 地域の活動について

**Q** 私が住んでいる大徳もそつだが、地域の担い手が高齢化している。地域づくり協議会だけでなく、他の連区各団体との兼務もあり、役員の活動低下が心配されるが。

**A** 行政の手の届きにくいところは、地域の自治力と協働は必要です。地域活動に決まった形はありませんので、できることをご協力いただきたいと思っております。地域で活躍されている方々には感謝しております。

**Q** 青色防犯パトロール隊を含め、市民パトロール隊の犯罪抑止の効果を教えてください。

**A** 正確に把握することは困難ですが、刑法犯認知件数の減少傾向から見ますと、大きな成果があったと考えられます。

### 人口減を食い止める施策について

**Q** 人口減少を食い止めるため、市はどのような事業を行っているか。

**A** まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、子育て支援や産業振興、賑わい創出など様々な事業を展開しています。

### その他の質問項目

・市民活動支援制度



## 河村 弘保 議員

(公明党)

### 登下校時の子どもたちの安全確保

**Q** 昨今、子ども達が犯罪に巻き込まれる痛ましい事件が続いている。地域で、防犯力メラの設置を進めているところもあるが、市が主導して子ども達が一人になるような通学路の危険な箇所を防犯力メラの設置を推進していくことはできないか。

**A** 市では平成28年度に全小中学校に防犯力メラを2台ずつ設置、町内会等でも、市の補助事業を活用して500台を超える防犯力メラを設置していただいています。安全・安心なまちづくりを推進する上で今後も地域の方々と協力しながら子ども達を守る体制を研究してまいりたいと思います。

### 民法改正 市営住宅の連帯保証人について

**Q** 昨年12月に公布された民法の改正により、住宅の賃貸借における契約が変更となる。市営住宅入居時の連帯保証人を依頼することが極めて難しくなることが予想されるが。

**A** 民法改正の施行は平成32年4月1日です。市営住宅に関しては一概に連帯保証人の依頼が困難になるものではありませんが、今後の賃貸住宅を取り巻く社会情勢の変化や他市の動向等を注視してまいりたいと考えっております。



## 鵜飼 和司 議員

(一志会)

### ターミナルケアについて

**Q** 一宮市の人口は平成30年4月1日現在38万5千人余、65歳以上の方が約10万1千人。近年、救命救急の現場では、患者さんの希望が不明瞭で、思いが尊重されないことが多くあり、また、ご家族や医師・医療チームは「延命治療」か「看取り」かなど、難しい判断を迫られることも実際に起きている。今年3月、国の指針が11年ぶりに見直され、その最大の特徴はアドバンス・ケア・プランニング(ACP)という手法を新たに取り入れたこと。ACPとは、自ら判断や意思伝達ができなくなる時に備えて、元気なうちに、人生の最終段階の医療ケアや価値観などを、家族・医療ケアチームと繰り返し話し合ったり、意思決定を代わる人を決めておいたりすることである。

そこで、これを市民の皆さんに浸透するための仕組みづくりが重要課題となるが、一宮市はどのようにお考えか。

**A** 議員ご紹介のACPの重要性については認識致しております。当事者のみならず、取り巻く家族・医療・介護関係者の理解があつてこそそのACPです。今後、一宮市在宅医療・介護連携推進協議会で、協議してまいりたいと考えています。

### その他の質問項目

・一宮市立市民病院  
新病棟について





**彦坂 和子 議員**

(日本共産党一宮市議員)

学校給食共同調理場は、PFI方式導入ではなく、市の責任で整備を

**Q** 公共事業を行う手法としてPFI方式と公設公営方式の違いは。

**A** PFI方式は、民間の資金や技術力を活用し施設を整備・運営する手法で、設計・建設・運営・維持管理を一括して契約する方式です。公設公営方式は、一宮市が施設を建設し、直接維持管理などを行う手法です。

**Q** 学校給食共同調理場の整備に関する事業方式として、すでにPFI方式が決定されたという点か。

**A** 現時点では、導入可能性調査の実施を決定しただけで、事業手法は未定です。今後、調査結果を検討委員会に諮り、事業手法を決定します。

いのちを大切にすると緊急通報と公共交通の整備で、高齢期も元気で暮らせる一宮に

**Q** 生活交通路線確保のための県の補助はないのか、ないのであれば制度の創設を要望してほしい。

**A** 県の補助は複数市町村にまたがる路線等が対象です。市内のみを運行する路線は補助対象になることは難しいと考えます。機会があれば要望してまいります。

**その他の質問項目**

・国民健康保険制度の  
都道府県単位化



**尾関 宗夫 議員**

(日本共産党一宮市議員)

「中小企業振興条例」の策定をすすめ、地域経済の活性化を

**Q** 昭和54年、東京都墨田区が全国の市区町村で初めて中小企業振興条例を制定した。愛知県は平成24年に制定。県内の制定状況を問う。

**A** 平成29年に、刈谷市が制定。現在、愛知県と7市で制定しています。

**Q** 犬山市は観光、農業を地域産業と位置づけ、地元中小企業者が参加し、産業振興条例として制定を目指している。一宮市も条例制定を求めている。

**A** 従来から一宮市は、中小企業の重要性を十分に認識して様々な振興施策を行っていています。これまで他の自治体の制定条例は、ほとんどがその責務等の考え方を示す「基本条例」でした。当時の考え方は、このような条例で変わりましたので、動向等を注視する中、将来にわたる否定ではなく、現在のところは、予定がないというところです。

**Q** 中小企業者向けの主な支援策の内容、件数、金額を問う。

**A** 事業資金融資の助成で信用保証料助成495件、補助額5,381万円余。利子一部補助1,008件、補助額6,490万円余です。

**その他の質問項目**

・障害者、高齢者が安全・安心して住み続けられるまちづくりを



**次の定例会の日程(予定)**

日程は変更になることがあります。 ID 1005106

| 本会議      |           |
|----------|-----------|
| 9月 3日(月) | 開会・議案上程   |
| 9月 7日(金) | 一般質問      |
| 9月10日(月) | 一般質問      |
| 9月11日(火) | 一般質問・議案質疑 |
| 9月26日(水) | 討論・採決・閉会  |

■開議時刻 ……午前9時30分  
■傍聴場所 ……本庁舎14階 議場傍聴席

| 常任委員会    |         |
|----------|---------|
| 9月13日(木) | 総務委員会   |
| 9月14日(金) | 福祉健康委員会 |
| 9月18日(火) | 経済教育委員会 |
| 9月19日(水) | 建設水道委員会 |

■開議時刻 ……午前9時30分  
■傍聴受付場所 ……本庁舎12階 議会事務局  
■傍聴受付開始時刻 ……午前9時(定員10名)

**傍聴してみませんか?**

市議会本会議と常任委員会はどなたでもご覧いただけます。市政への知識を深めたり、市議会の活動などを知ることができますので、ぜひ市役所本庁舎に傍聴にお越しください。(受付手続きがお済みであれば、自由に入室・退室ができます。)

傍聴の際の手話通訳も手配いたしますので、ご希望の方は傍聴予定日の5日前までにお申し込みください。



ID 1005038

**ご自宅などでご覧になるには…**

○本会議の生中継

インターネット、ケーブルテレビ(ICC)で配信



○常任委員会の生中継

インターネットで配信(平成30年3月定例会から)

○本会議の録画中継

インターネットで開催日の約1週間後から配信

\*詳しくは、市議会ウェブサイトをご覧ください。



ID 1010237